



一般質問

第3回定例会の主な質問内容は次のとおりです。
なお質問の詳細は、熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

公明党



藤永 弘議員

質問1

投票支援カードの製作・導入を

選挙権はあるが投票行動が困難な重度知的や重度身体の障がいがある方々へ、投票支援カードを製作し導入へ。

答弁

投票支援カードは、障がいのある方が投票するハードルを下げることに寄与するもので、他都市の事例を参考に導入に向け取り組む。

質問2

避難行動支援にペット同伴避難所の設置を

ペットを飼われている方が、安心して避難行動ができるように、市有施設にペット同伴避難所の設置を求める。

答弁

水前寺競技場において、特別警報級の台風などの際のペット同伴避難所として、開設に向けて準備を進めている。



市民連合



吉村 健治議員

質問1

熊本市の名義後援

旧統一教会系団体に名義後援し、後に取り消した。名義後援に関する市長の見解と当該関係団体との関わりは。

答弁

今後はさらに慎重に内容を精査し、後援の可否について適切な判断を行うよう徹底する。当該関係団体とは一切の関わりがない。

質問2

学校部活動の地域移行について

本市における部活動の問題点と課題は。また、教員の働き方改革の推進と部活動の地域移行に関する取り組みは。

答弁

教員の負担などの課題があり、地域移行に関する庁内検討会議や検討委員会の設置、教員が兼業で指導する仕組みの構築などに取り組む。



熊本自民



光永 邦保議員

質問1

本市で行う自衛官募集事務の状況を問う

安全安心の最後の砦となる自衛官が現在、大変な募集難。本市における自衛官募集事務の状況を問う。

答弁

市政だよりに募集情報記事を掲載する他、懸垂幕やのぼり旗の設置、ポスター掲示による広報宣伝などを実施している。

質問2

パーク&ライド^(※1)への今後の取り組みについて

駐車場を提供して公共交通へと接続を図るパーク&ライドは渋滞解消への切り札。今後どのように取り組むのか。

答弁

公共交通の機能強化を図り、適した場所に駐車場を確保するとともに、行動変容を促すインセンティブについても検討を進める。



自民党



日隈 忍議員

質問1

本市における地域防災力向上の取り組み

災害関連死を減らすための災害弱者への対策と、防災士養成講座の参加状況と養成後の支援について問う。

答弁

災害弱者は福祉避難所などへつなぎ、地域の関係機関と連携強化を図る。防災士養成後の支援として今年度よりフォローアップ研修に取り組む。

質問2

プロスポーツチーム支援と球技専用施設の必要性

プロスポーツチームが本市に与えるさまざまな効果と民間資金を活用した球技専用施設の必要性について問う。

答弁

プロスポーツチームの競技開催は生涯スポーツの普及や本市のPR効果につながる。球技専用施設建設は中長期的課題と捉えている。



共産党



那須 円議員

質問1

物価高騰やコロナ禍での市独自の支援を

他都市では、福祉施設への食材費補助や農家への肥料、飼料の補助が行われている。市独自の支援を行うべき。

答弁

各分野で支援を進めながら、今議会では農漁業者の利子補給などの補正予算を計上。国の経済対策を見据え、さらなる支援策を検討する。

質問2

加齢性難聴者へ補聴器購入補助を

難聴と補聴器についての実態調査を実施すると共に加齢性難聴者に対して補聴器購入の補助を行うべき。

答弁

本市の実態を把握するため、独自のアンケート調査を検討する。また、補助制度については、今後も国に対して働きかけていく。



公明党



高瀬千鶴子議員

質問1

肺がん検診の個別検診化で受診率向上へ

肺がん検診個別化の重要性や必要性について市長の見解を。また、個別化に向けた現在の状況や見通しは。

答弁

肺がん個別検診の導入は、がんの早期発見・早期治療による健康寿命の延伸などにつながり大変重要な取り組みであり、12月に開始予定である。



質問2

詐欺被害予防に高齢者宅へ自動録音電話機を

高齢者宅への自動録音電話機の普及および購入費の助成が必要ではないかと考えるが市長の見解を。

答弁

自動録音電話機は詐欺被害防止に効果的であることから、購入費の助成も含めた具体的な取り組みを担当部局に指示した。

市民連合



福永 洋一議員

質問1

花のあるまちづくりの取り組みについて

ツツジの管理について、適切な時期の剪定が実施されていない。花が綺麗に咲くように適正な管理を願う。

答弁

複数の樹種が植栽されていることや、除草作業も同時に行うことを踏まえて、今後地域の実情や樹種に見合う適正な剪定の検討を進める。



質問2

子どもたちの声を反映した学習環境等の改善

不登校児対策・校則見直し・部活動指針の徹底・教科書の重さ軽減など、子どもたちの声を聞き改善すべき。

答弁

不登校対応や学習環境などの改善にあたっては、アンケートの実施や意見表明の機会を設けるなど、子どもたちの声を聞き、取り組む。



おしえて ひごまる

パーク&ライド^(※1) …………… 市街地への自動車の流入を抑制するための対策で、自宅から最寄りの駅や停留所まで自動車で行って駐車し、そこから公共交通機関に乗り換えて目的地まで移動する方法。

